行動計画テーマ2関連

市民と地域の交流を促す
スマートアクセスの実現

～交通不便の解消だけでなく、地域間交流を促進する環境づくり～

テーマ2：（1）計画の全体概要

■ 目的

交通不便の解消だけでなく、地域間交流等を促進する交通環境・機能づくり

■ 前提

EV充電設備導入等の前提となるインフラや設備が整備されていること

■ 展開する主な個別事業

市民のアクセス環境実態の把握	・ゴールド集落等での市民の自家用車やバス等利用実態把握 ・各地区の総合的なアクセス需要等の把握
公共交通のスマート化促進※	・乗合タクシー、コミュニティバス等の市内の公共交通手段を、誰もが簡単かつ効率的に利用できるよう、携帯端末を介した運行状況のリアルタイム表示や乗車予約等ができる仕組の構築。 ・効率の良い乗り継ぎを可能にする高度な配車管理支援機能の提供
電気バス、EVタクシー導入整備※	・市内の必要箇所にデマンド型の電気バスやタクシーを導入 ・電気バス車内における目的地到着予定時刻案内、乗り継ぎ案内等の交通情報や目的地周辺における最新のイベント情報等の提供
地域交流を仕掛けるお祭り乗合バス利用の促進※	・市内各地に残る伝統行事や催事等の開催に合わせて、日頃のデマンド型電気バスを活用（バスとICTインフラの複合利用1） ・近隣地区の住民が乗り合わせで参加、交流する機会の創出
我がまちの特産品を配達する地産地消応援バス※	・市内各地で収穫されるとれたての新鮮な農産物や魚介類を、電気バスを利用し運ぶ。オンデマンドで注文、配達するシステムの構築（バスとICTインフラの複合利用2）。

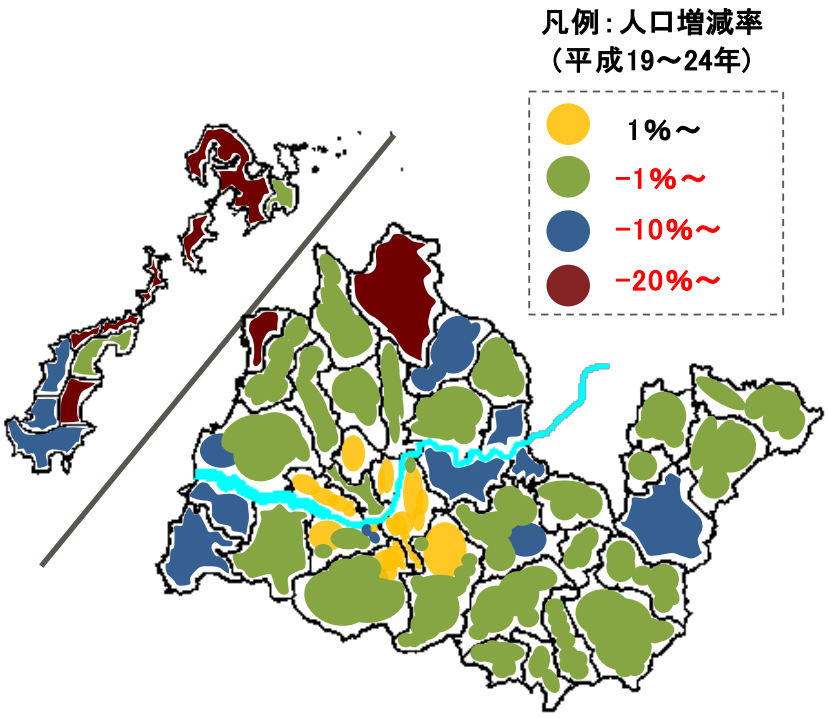
※印の項目については、具体的な進め方について後述する

テーマ2：(2)テーマに係る背景①

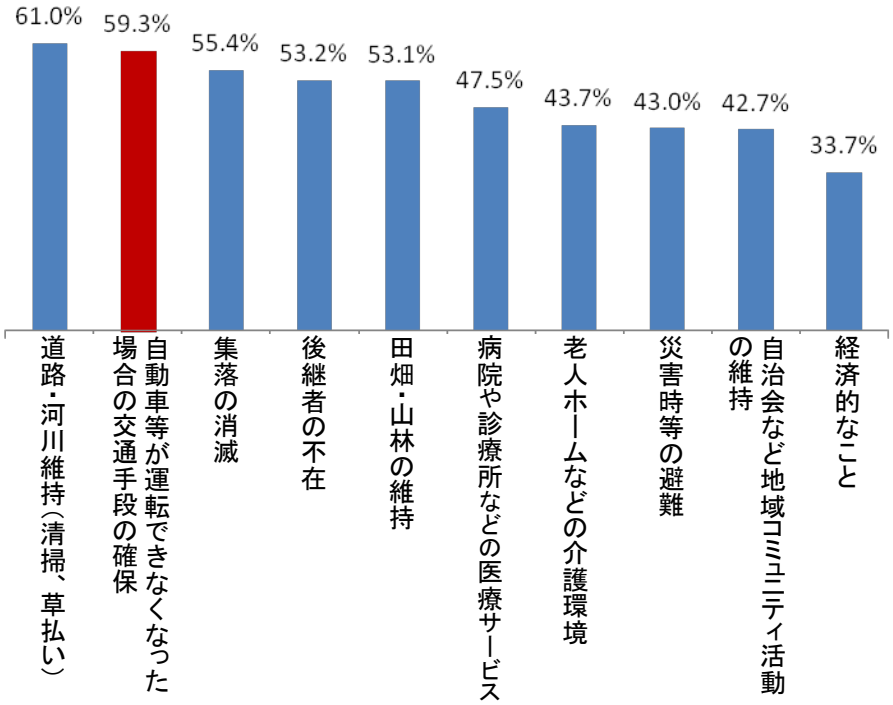
路線バスを取り巻く環境

○路線バスは、人口減少や自家用車利用の増加などにより、全国的に輸送人員の減少が深刻で、 路線廃止も少なくない。中山間地域等では、高齢者等の移動手段、生活交通確保の目的で、バス事業者への補助により路線維持を行っていることが多いが、上記理由により利用者は少なく、費用対効果や市の財政負担の面からも課題となっている。

○市内では特にゴールド集落を中心に、地区懇談会等の場で交通環境についての不満や不安、要望の声が多く聞かれる。今後ますます各地区の人口構造が変化し、自動車利用が困難になる人が増えてくることが想定されており、費用対効果も踏まえた実効的な対策が望まれている。



自治会（集落）の10年後の生活を考えたときに不安に感じること（上位10項目）



（出典）自治会役員を中心とした自治会員に対するアンケート調査（平成21年度）

テーマ2：(2)テーマに係る背景②

デマンドバスの運行状況

○利用者の要望に応じて停留所等に呼び寄せたり停留所以外 でも乗り降りができる仕組みのバスやタクシーのことで、生活に密着した公共輸送機関である路線バスの利便性をいっそう高め、バス離れの現象に歯止めをかけるとともに、各種方策を用いて運行コストの低減を図ろうとするもの。徐々にではあるが普及しつつあり、市内では入来・東郷地域で運行されている（デマンド交通「きんかん号」、「ゆったり号」）。なお、現法では独立採算で成り立っている既存路線バスとは競合不可。

デマンドバス、デマンドタクシーの課題

①低いデマンドタクシーの利用実態（利用率23%「平成23年2月　住民　アンケート調査結果」。利用しない理由は「車・バイク・自転車等があり、デマンドタクシーを利用しなくて良いから」が46%で最も多く、その他「予約が面倒」、「時間」、「運行場所」等についての不満が多い。）
②運行経費が相当程度必要（平成24年度契約額上限・約540万円）

電気バス・EVタクシーの運行状況

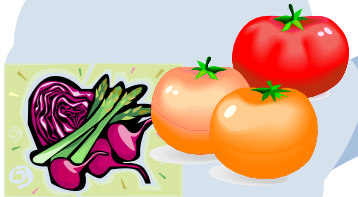
○電気自動車の一種であり 、電気のみを動力として走るバスやタクシーのこと。環境にやさしい、音が静かなどのメリットが上げられていて、再生可能エネルギー利用促進の一環として、各地で実証実験や導入等が進められてきている。現時点では一回の充電当たりの走行距離等課題も上げられているが、更に技術革新、環境整備、量産化等進んでいくことが想定されている。話題性もあり乗ること自体の　魅力も期待できる。

電気バス、ＥＶタクシーの課題

①導入コストが高い（車両は約8,000万円「羽村市等事例から」。電気自動車のワゴンタイプは今後商用化が進む）
②一回の充電当たりの走行距離が短い、運行経費が相当程度必要。

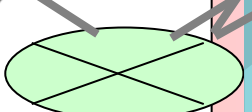
テーマ2：(3)モデル全体イメージ

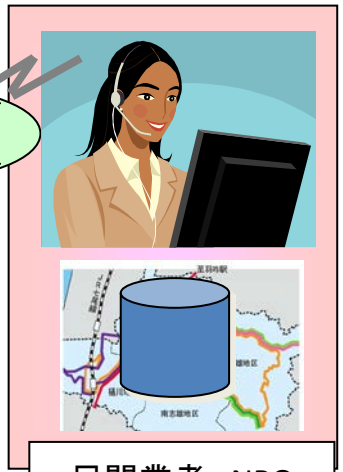
○交通環境の厳しいゴールド集落等に電気バス、EVタクシーを導入するだけではなく、同じ車両やシステム（データ管理と最適配送シュミレーション等）を活用し、地域イベント等での地域間交流の手段や、地域の特産品輸送の手段にもデマンド方式で活用（複合利用）することで、集落活性化・交流の実効的手段として寄与していきます。



地域の特産品も
併せて小ロット運搬

予約はデジタルTV等から可能





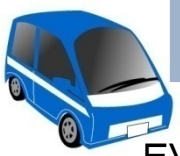
民間業者、NPO

タクシー・バスの
接近を携帯で
受信

利用者

発電所等を結んだ
産業観光ルート開発

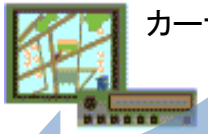
市内の各地域へ
人と地域との交流へ



EV化の推進

乗り合いタクシー

地域コミュニティバス



カーナビ

予約受付
交通機関の
運行状況把握